

“りいぶる”相談室

相談受付専用ダイヤル **073(435)5246**

相談料は無料。専門の相談員がお話をあつかいがいします。秘密厳守です。
ナンバーディスプレイは使用してありません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不安など、さまざまな悩みや相談に、女性相談員が応じます。

電話相談

火水木金土 9:00～20:30
(受付は20:00まで)

日 9:00～17:00
(受付は16:30まで)

面接相談 (予約制・女性のみ)

火水木金土 9:00～17:30
(受付は16:30まで)

日 9:00～16:00
(受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるこころの問題に、女性カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

金 13:00～16:40
※第5週は除く。

予約制、各日4人まで。
相談時間は1人40分です。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、女性にとって身近な法律上の問題に、女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

月3回 13:00～16:10

※不定期です。日程は“りいぶる”までご確認ください。

予約制、各日5人まで。
相談時間は1人30分です。

男性のための電話相談

◆男性相談員が対応します◆

職場のストレスをはじめ、夫婦・家族・人間関係などのさまざまな問題に男性相談員が応じます。

水 16:30～20:30 ※毎月第2水曜日

予約優先です。(匿名可) 相談時間は1人50分程度。



◆発行 和歌山県男女共同参画センター

“りいぶる”

〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

TEL (073) 435-5245

FAX (073) 435-5247

《メールアドレス》libre@sirius.ocn.ne.jp

開館時間 火曜～土曜：午前9時～午後9時

日曜：午前9時～午後5時30分

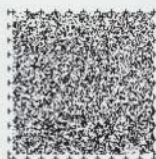
休館日 毎週月曜・国民の休日(祝日)

年末年始(12月29日～1月3日)

HPは“りいぶる”で検索してください。

りいぶる

一企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山eかんにいー



平成23年度
男女共同参画「みんなで作ろう 輝く未来!!」
啓発ポスター最優秀賞受賞作品



新谷 安梨沙さん
(橋本市立城山小学校1年)



出口 奈緒さん
(岩出市立根来小学校6年)



磯部 彩乃さん
(和歌山県立向陽中学校1年)



酒田 瑠華さん
(和歌山市立西脇中学校2年)



三浦 由起子さん
(和歌山県立和歌山高等学校3年)

応募のあった全作品は、和歌山バス株式会社のご協力を
得て展示します。
展示車両：南海和歌山市駅～JR和歌山駅間
展示期間：平成23年12月11日～平成24年3月4日
※作品は1カ月毎に入れ替え

※詳しくはりいぶるHP・講座・イベントレポ
ートにアップしています。

りいぶる

No.53
2011.12



表紙デザイン：県立和歌山工業高等学校 坂口 悠さん

目次

- りいぶる★アイ「災害時に男女共同参画の視点をー」
公開シンポジウムレポート
- 男女共同参画基本計画サポート事業 in 有田川町レポート & 県内の支援活動紹介
- “りいぶる”講座・イベント案内
- 講座レポート
- 地域の子カラ
- あなたのサードプレイス “りいぶる”へようこそ
インフォメーション 青少年・男女共同参画課/和歌山労働局
- “りいぶる”相談室
平成23年度男女共同参画啓発ポスター最優秀賞受賞作品

～紀伊半島大水害～
まけるな!!
和歌山





—災害時に男女共同参画の視点を—

東日本大震災ならびに台風 12 号により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

今回の大震災や、大型台風により和歌山県でも想像以上の被害が発生し、全力で復旧作業が進められていますが、復興にはまだまだ時間がかかりそうです。

内閣府男女共同参画局から、災害時における女性の視点を入れた取組が示される一方、和歌山県男女共同参画基本計画においても、女性の視点を取り入れた避難所運営マニュアル策定や、自主防災活動への女性の参画を促進する施策の方向性が示されています。避難所・被災世帯の安全・安心確保や減災・復興には、男女共同参画の視点をふまえた施策が必要となっています。

公開シンポジウム 3.11から6ヵ月 地震・津波、その時のために ～被災地から見えること～

9月11日(日) 於：和歌山市男女共生推進センター“みらい”6階ホール



相川 康子さん

基調講演「減災・復興に男女共同参画の視点を」

講師 相川 康子さん (NPO 法人 NPO 政策研究所専務理事)

パネルディスカッション「地震・津波、その時のために～被災地から見えること～」

コーディネーター 相川 康子さん

パネリスト 宗片 恵美子さん (NPO 法人イコールネット仙台代表理事)

幾島 浩恵さん (上富田ふれあいルーム講師、防災士)

上西 令子 (和歌山県男女共同参画センター所長)

自然災害にあったとき、女性の人権をふまえて自分ができることを考える機会として、和歌山市男女共生推進センターと共催で開催しました。

基調講演で相川さんは、なぜ減災と復興に男女共同参画の視点が必要かを話されました。過去に起きた大震災の際には、女性が様々な困難を抱え込むことが多く、女性も主体的に防災に関わる必要があると語られました。

パネルディスカッションでは、それぞれの立場から意見を述べられました。

宗片さんは、今回の震災で「せんたくネット」を立ち上げましたが、これは女性たちが困っている洗濯を代行することや、その際に避難先で交わされる会話のなかから女性のニーズを知り、支援をするというものでした。こうした取組を、今後の災害に生かしてほしいと話されました。



宗片 恵美子さん

幾島さんは、上富田ふれあいルームで実践している子ども向けの防災教室にふれ、自らが行動する大切さを教えていると話されました。

上西所長は、「災害時に女性が様々な困難にあわないよう、和歌山の人たちに避難生活の様子を伝えたい」という、シンポジウム企画のいきさつと、大型台風による被害が発生した直後の開催となったため、県の災害ボランティアの状況や、防災対策について説明しました。

今回のシンポジウムは、女性が勇気づけられるだけでなく、だれもが主体性を持って参画する地域・社会づくりが、災害時にも有効であることを知る機会となり、参加者からは、「女性の参画が必要だと感じました」との感想が多く寄せられました。



幾島 浩恵さん

公開シンポジウムのパネルディスカッションでは、台風 12 号の災害復旧のため、当初予定していたパネリストを一部変更いたしました。

男女共同参画基本計画サポート事業 in 有田川町

災害と女性 もし、あなたが被災したら…どうする！地域の防災

8月2日(火) 於：金屋文化保健センター
講師：正井 礼子さん
(NPO 法人女性と子ども支援センター
ウィメンズネット・こうべ代表)



正井さんは、阪神・淡路大震災での被災直後に『女性支援ネットワーク』を立ち上げ、女性

の人権を守るため様々な活動を行ってきました。「震災時は、女性のケア役割※が強化されたり、性暴力やDVが増加したりするなど、女性の人権がおびやかされることがある」ということを実感したと言います。

また、東日本大震災で支援活動を行った際には、「避難所のリーダーは圧倒的に男性が多く、炊事担当はすべて女性であるなど性別役割分業が色濃く反映されていた。そのためプライバシーの確保など女性の要望を出しづらい状況がみられ、だれもが大変な状況のなかで、『自分の要望はわがまま、我慢するしかない』と無力感を抱く女性が多かった。そのことから、避難所運営にも女性の参画が不可欠である」と話されました。

後半は、実際の避難所を想定したグループワークを行いました。グループからは、避難所運営に必要なこととして、「避難所を小さいグループに分け、男女それぞれのリーダーがニーズを把握する」、「一人ひとりができることを申し出て動く」、「乳幼児や高齢者のいる家族には、相談相手やケアする人の休憩スペースが必要」、「仮設住宅ではプライバシーの確保と、孤立予防のためのコミュニティづくりが不可欠」、「自立のために専門家の相談を受ける」など、たくさんの意見が出されました。

※ケア役割：家事、育児、介護などをケアする役割のことです。これまで日本ではその役割を主に女性が担ってきました。

県内の支援活動紹介

—災害から命を守る活動を—

チーム SAZANKA
代表 今井 里香さん



今井 里香さん

串本町出身の和歌山大学院生、今井さんは、東日本大震災に衝撃を受け、「和歌山で起こったら…」との危機感を強めました。和歌山からできることはないかという思いで、同じ大学の学生を中心に SAZANKA を立ち上げ、防災支援や防災教育を目的に、現在は 16 人のメンバーで活動しています。

小中学校・高校へ出前防災講座を行い、また「守ろう、わかやま！！」実行委員として防災のための県民集会を開催するなどの活動を行っています。小学校の授業で防災講座を開催したときには、子どもたちの熱心さと意識の高さを知り、改めて日頃からの防災意識の必要性を痛感したそうです。

台風 12 号の被害もあり、地域社会とのつながりをはじめ、より幅広い防災支援をめざして活動しています。

—思いがつながる活動へ—

にんにこ被災者支援ネットワーク
代表 花田 恵子さん
事務局 難波 泉さん、富士原 史香さん

にんにこ被災者支援ネットワークは、避難家族に空家を提供する活動をしている団体です。震災直後、関東に住む友人に、放射能から避難したいとの相談を受け、「何かできることは」と話し合い設立しました。

常時 10～15 人のメンバーで運営し、空家の確保、入居前の掃除、公的な支援の情報提供、避難家族との交流会など、心理的なサポートを意識したきめ細かい活動を行っています。

9 月末までに県民の方から 23 件の空家提供があり、現在 11 組が避難され生活しています。不安を抱えていた被災者は、本音で話ができる環境に安心し、なかには定住を決めた人もいるとのこと。メンバーも、「避難された人が少しでも楽しい日々が送れるように…」との思いで、様々な支援を行っています。



花田さん 難波さん 富士原さん

“りいぶる” 講座・イベント案内

☆これからの講座・イベント（変更する場合があります。詳しくは、今後の『県民の友』をご覧ください）

<p>公開セミナー in 橋本市 「あなたらしい生き方で！～仕事も家庭も子育ても～」</p> <p>日程：12月10日（土）13：30～15：30 会場：橋本市教育文化会館 （橋本市東家1丁目6-27） 講師：鈴木 佳緒留さん（神戸大学大学院教授）</p>	<p>公開セミナー in 紀の川市 「防災・災害復興における安心のまちづくり」</p> <p>日程：平成24年2月4日（土） 会場：中貴志コミュニティセンター （紀の川市貴志川町上野山28） 講師：清原 桂子さん（兵庫県理事）</p>
<p>“りいぶる” わいわいサロン語り合い広場 「先輩シングルマザーに学ぶ マネー&ライフ」</p> <p>日程：平成24年1月28日（土） 会場：“りいぶる” 会議室A 講師：植田 香代子さん （うえだライフマネジメントオフィス）</p>	<p>りいぶる基本計画サポート事業 in 新宮市 「家族の介護から学んだこと」</p> <p>日程：平成24年1月19日（木） 会場：新宮市人権教育センター （新宮市春日6-5） 講師：辻 イト子さん（タレント・漫才師）</p>

11月19日（土）・20日（日）「りいぶるフェスタ2011」開催しました！ 於：和歌山ビッグホエール

和歌山ビッグホエール特設アリーナで、ふれあい人権フェスタと同時開催しました。その様子を紹介します!!

おめでとうございます!! 男女共同参画啓発ポスター表彰紙

今年度最優秀賞の5名の皆さまが、知事表彰を受けられました。受賞作品と、ポスターの展示スケジュールは、裏表紙に掲載していますのでご覧ください。

マズン、パピエムが、とってまわりの演奏をしてくれました。

グッティ・フレイムによるミニミニコンサート

会場では、女性に対する暴力をなくす運動週間や男女共同参画の啓発ポスターを掲示

来場者アンケート実施!
「男の涙、どう思う?」についてYES or NOで答えてもらいました。アンケート結果は、りいぶるに掲載しています。

皆さん、熱心に聞いてください。

ダニエル・カールさん(91才) 講演会
オラの愛する元気な日本
～絆でつながる男女共同参画社会～

テレビでおなじみの米国出身タレント、ダニエル・カールさんの講演会を開催しました。愉快な山形弁で、日米の文化比較をまじえながら、人々との絆を深めるためのコミュニケーションの大切さを語られました。楽しいトークは、満員の会場からは笑いがあかれています。

講座レポート

子育ては

イライラしたって大丈夫!～悩んだ分だけ子どもは育つ～

9月9日（金）“りいぶる” わいわいサロン語り合い広場
「熊丸みつ子さんの親子であそぼう!～泣いたって怒ったってへっちゃら～」
講師：熊丸 みつ子さん（幼児教育専門家）



子育て支援の大切さを学び、子育ての孤立を防ぐと、親子で参加できる講座を開催しました。熊丸さんの包み込むようなやさしさと、明るくパワフルなトークに、会場は熱気にあふれました。熊丸さんは、「子育てでイライラするのは子どもが順調に育っている証拠、自信を持っていい」と子育て中の参加者を力づけました。また、キーボードのリズムに合わせたスキップを楽しみ、新聞紙など身近な物でオモ

チャを作って遊びました。参加者は、熊丸さんの話にうなずきながら、笑ったり涙したりと終始熱心に聴き入っていました。熊丸さんは、「3億近い精子の中から、たったひとつが受精して誕生した生命は、本当に奇跡」と話され、この大切な命を地域で育てる必要性を語られました。最後に、参加者同士で握手をし、和やかな雰囲気の中で講座を終えました。

みんなのパワーでモチベーションUP!

起業実践セミナー「夢をかなえる大人の起業塾」10月15・22・29・11月5日（土）

大盛況の講座でした♪

公開講座「夢をかなえる大人の学校サクセスストーリー」
講師：次屋 妙子さん
(TSUGIYA TAEKO PLANNING OFFICE プロデューサー)

連続講座「夢をかなえる大人の起業塾」
講師：吉住 裕子さん（尚未来教育設計代表取締役）



次屋さん

7年間の専業主婦生活を経て、35歳でイベントスクールに入学した次屋さん。主席で卒業後、イベントプロデューサー、エッセイスト、フォトグラファーと、活躍の場を広げていったサクセスストーリーに、会場は感動に包まれました。自らの経験から、「夢への挑戦に手後れはない」、「努力は裏切らない」と言い切る次屋さんの言葉が印象的でした。自分を諦めなかった女性たちの生きざまを映像に「女性版、情熱大陸」を創りたいと、熱く語られ、参加者からは、「前向きになれた」、「心に響く言葉に出会えた」などの感想をいただきました。

起業体験者の体験談、事業計画書など起業の基礎的な知識の習得、営業プロモーションを学ぶ機会として、4日間にわたり講座を開催しました。

参加者は、先輩の起業体験者からエールを送られ、吉住さんは、「受講生のメンバーを活用してネットワークを広げ、自信を持って第一歩を踏み出してください」と、講座を締めくくられました。

参加者同士の交流も盛んに行われ、それぞれの起業に向けてパワーアップできた講座となりました。



10月25日（火）デートDV防止啓発講座「自分も相手も大切に」

講師：伊田 広行さん（立命館大学・神戸大学非常勤講師）

於：和歌山県立和歌山西高等学校 体育館

全校生徒を対象に、デートDVとは何かを学ぶ講座を開催しました。

伊田さんは、芸能人のDV被害などの例をあげながら、わかりやすく説明されました。また、恋人同士が“お互いを尊重する関係”の事例などを、男女の先生方が演技するロールプレイを行い、生徒の関心を引きました。講座では「自分も相手も、ともに成長できる対等な関係であるように」とのメッセージを届けました。

※講座レポート、詳しくはりいぶるHPの講座・イベントレポートにアップしています。

地域のチカラ



地域で夢を実現すること、地域のニーズをカタチにすることで「自分づくり、まちづくり」を実践しているお二人にお話をうかがいました。

患者に寄り添う医療をめざして 和歌山ろうさい病院 女性専用外来 辰田 仁美医師 (和歌山市)

HPはこちら

県内初の女性専用外来



辰田 仁美さん

平成 15 年 5 月、県内初の女性専用外来を開設。医師をはじめスタッフはすべて女性で、診療科目は内科（漢方治療）、心療内科、婦人科、乳腺・肛門外科。辰田さんは、主に内科を担当されています。15 歳から受診可能で、摂食障害や、更年期障害、冷え性など症状は多岐にわたると話されました。

初診時間が 30 分と長く、患者の話を十分聴ける環境づくりを行っており、開設以来患者数は増加を続け、平成 22 年度の総患者数は 968 名にものぼっています。症状に応じて、院内の他の診療科とも連携するなど、幅広く継続した治療を心がけているそうです。

女性の視点で、女性を守りたい

診察するなかで、女性の多くが介護という問題に直面することが見えてきたと言います。仕事や家族との狭間でストレスを抱え、離職する女性も多くなっています。

女性は「介護や家事は女性の仕事、できてあたり前」という周囲の偏見から追いつめられる傾向にあり、めまいや体調不良などの心身症状を引き起こす要因となっているため、社会的なサポートが必要だと話されました。

辰田さんは、発生する疾患や症状が、性別により違うことを念頭において治療を行う「性差医療」に注目しており、「女性専用外来でも性差医療を取り入れ、女性の視点でこれからも女性を守りたい」と話されました。

保育所が地域をつなく工房に 工房アレン'S ドミニク・アレンさん (紀美野町)

HPはこちら

大好きなまちで、夢をカタチに

アレンさんは、木が持つ魅力を引き出し、手づくりにこだわる建築や家具製作を行っています。

2006 年、結婚を機にイギリスから来日、英語教師をしながら海南市で生活していたが、母国で長年大工として働いていた経験から、紀美野町で陶芸窯と作業場の建設を行いました。これをきっかけに、再び好きな大工の道に戻ることを決意し、紀美野町の豊かな自然や、アットホームな人の良さに惹かれて、町の I ターン制度を利用、古民家を手に入れました。

新しい工房をさがしていた今年、町で使われなくなった保育所を見つけ、工房としてオープンし、ショールームやワークショップも現在準備中です。



家族とともに、このまちで暮らしたい

地元のパン屋と交流を持ち、店の内装や家具の製作、イギリスのレシピを紹介するなど、地域に溶けこみ生活をしているアレンさん。紀美野町をもっとアピールしたいとの思いから、今年 6 月工房でフリーマーケットを開催。地元を含め、県内から 30 店舗が出店するなど、大盛況でした。8 月に第 2 回を開催し、今後も引き続き開催予定とのこと。「このまちには素敵な人やお店があり、みんながんばっている。自分たちも紀美野町の新名所をつくりたい」と話されました。

また、自分の技術を伝えたいという夢から、家具づくりの体験教室を開催してきました。参加者が苦勞しながらも自分の作品を完成させたときの嬉しそうな顔が、自分の喜びであり、今後も続けたいと語られました。

あなたのサードプレイス “りいぶる” へようこそ

“りいぶる” は、家庭・職場に続く第 3 の場所（サードプレイス）として皆さまをお待ちしています。

あなたらしい使い方で、“りいぶる” におこしく下さい！！

“りいぶる” 図書室

“りいぶる” の図書室では、図書 3 冊、DVD とビデオはどちらか 1 本、貸出ができます。

また、新聞をゆっくり読んだり、インターネット検索もできます。



イチオシ図書・DVD のご紹介 ☆貸出の方法や本の検索など、お気軽にスタッフまでお問合わせください☆

「ラウィーニア」

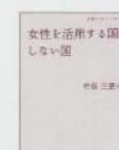


著 者：ア・シラブル・グウィン
出版 社：河出書房新社

米国 SF 界の女王と言われる、ル＝グウィンの壮大なファンタジー。古代イタリアの女王ラウィーニアの人生が描かれています。

予言者のメッセージを運命として受け入れながらも、自己決定を大切に人生を切り拓くラウィーニア。一人の女性としての強さとしなやかさに感動を覚えます。

「女性を活用する国、しない国」



著 者：竹信 三恵子
出版 社：岩波ブックレット

先進国の中でも、女性の社会進出が断トツに遅れている日本。女性を活用できない現状を、議員や企業管理職の男女比、非正規雇用問題、賃金格差などから、わかりやすく解説しています。

だれもが生きやすい社会を実現するためには、女性の活用が必要不可欠だとしています。

「川の底からこんにちは」

DVD



2009 年公開
監督：石井 裕也
主演：満島 ひかり

東京で、恋愛も仕事もうまくいかず、情性の日々を送る佐和子。実家の父が倒れ、倒産寸前の“しみ工場”を継ぐことになったが、頼りない恋人やくせ者ぞろいの従業員に悪戦苦闘。

どん底人生からの這い上がり痛快！でも最後にはホロリとします。

青少年・男女共同参画課インフォメーション —男女共同参画推進事業者を登録しました—

会社名 株式会社 フロンティアグループ (登録番号 男女第 51 号) 平成 23 年 11 月 14 日登録

所在地 新宮市 業 種 福祉関連事業、製造業他

- 男女の区別なく、個人の意欲や能力に応じて管理・監督者に登用
- 資格取得について、受講料・旅費・宿泊費等を補助し、男女ともに昇進・昇格を推進
- 育児・介護休業規定を整備し、育児や介護のために始業・終業時間の繰り上げ、繰り下げを実施
- 業務をマニュアル化し、手順や内容を共有することで、休暇を取得しやすい環境を整備
- セクシュアル・ハラスメント相談窓口を社会保険労務士を設置し、職員に周知

◆和歌山労働局からのお知らせ◆ 『必ずチェック 最低賃金！ 使用者も 労働者も』

平成 23 年 10 月 13 日から、和歌山県最低賃金は、時間額 685 円となります。詳しいことは、和歌山労働局賃金室 (073 - 488 - 1152)、または最寄りの労働基準監督署へお問い合わせください。

「地域のチカラ」では、地域に根づいた活動をしている方を取り上げています。地域でがんばっている人、取り上げてほしい団体など、ぜひ“りいぶる”までお知らせください。